事業報告書

【第11期】

２０２３年度

自 ： ２０２３年4月　１日
至 ： ２０２４年3月３１日

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

事業報告書　目次

Ⅰ．　事業の概要.....2

１．日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動.....2

２．日本語・漢字に関する調査及び研究活動.....5

３．日本語・漢字に関する能力育成活動.....6

Ⅱ．理事会・評議員会に関する事項.....14

Ⅲ．その他.....15

Ⅳ．後発事象.....15

Ⅴ．附属明細書.....15

Ⅰ．　事業の概要

伝統ある日本文化の発展の過程において、日本語・漢字は文化の伝達と進展を根幹で支えてきました。公益財団法人 日本漢字能力検定協会は、社会生活に必要な日本語・漢字の能力を高め、広く日本語・漢字に対する尊重の念と認識を高めるとともに、我が国における生涯学習の振興を通じて日本文化の発展に寄与することを目的としています。

この目的を達成するために、本年度も国内および海外において次に掲げる公益事業に取り組み、あらゆる人々の日本語・漢字の“学び”を支える活動を行いました。

事業（定款第４条１項）

１．日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動
２．日本語・漢字に関する調査及び研究活動
３．日本語・漢字に関する能力育成活動
４．その他この法人の目的を達成するために必要な事業

１．日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動

社会生活に欠かせない日本語・漢字に対する興味関心、尊重の念を抱き、生涯にわたって学習する動機付けや、言語生活が豊かに育まれる環境を整備するため、次に掲げる（１）～（６）の手段により、普及啓発・支援活動を行いました。

（１）漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）の運営

日本語・漢字に対する興味関心を高め、不特定多数の人々の学びの動機付けや促進につなげることを目的に、漢字に関する情報の収集や発信、展示を通して漢字の“面白さ”“楽しさ”“奥深さ”を体感しながら学ぶことのできる「漢字ミュージアム」を運営しました。

本年度の来館者数は 60,615 人でした。

①開館日数：301 日（臨時休館日数：1 日＊台風の影響）
②開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時
③休 館 日：原則、毎週月曜日（休館日が休祝日の場合は翌平日に振替）・年末年始
④利 用 料：

大人		大学生・高校生		中学生・小学生		未就学児	障碍者
個人	団体	個人	団体	個人	団体	無料	無料
¥800	¥700	¥500	¥400	¥300	¥200		

＊団体は 20 名以上（団体引率者は 10 名につき 1 名免除）／障碍者の介護人（1 名）免除

○割引・特典制度
・修学旅行・課外学習グループ割（2 名以上のグループ）
・小中高生 1 名以上と同伴している大人の割引（2 名まで）
・漢検生涯学習ネットワーク会員割
・JAF 会員割（会員本人含む 2 名まで）
・年間パスポート（発行日から 1 年間有効）

大人	大学生・高校生	中学生・小学生
¥2,500	¥1,600	¥1,000

⑤ワークショップ・講座・講演会の実施

館内でのワークショップ、出張ワークショップのほか、京都市内博物館施設連絡協議会の年度総会や文化庁主催「国語課題懇談会」といった関係諸機関と連携した活動を行いました。

⑥企画展の開催

「所蔵品紹介　中国と日本の古辞書展」4月29日～10月1日　期間来館者数25,594名
「漢字鉄道の旅」　7月19日～10月1日　期間来館者数15,052名
「今年の漢字®展」　10月24日～2月25日　期間来館者数21,631名

（２）機関誌の発行

日本語・漢字学習に資する情報誌として、日本語・漢字に関する様々な記事を掲載した「漢検ジャーナル」を発行（年２回）し、学習者・保護者・教員をはじめ、一般の方々に無料で配布しました。これまでに発行した機関誌は当協会ホームページにも掲載しており、無料で閲覧・ダウンロードできます。

「漢検ジャーナル　Ｖｏｌ.36」（2023年8月1日発行）　発行部数50.4万部
「漢検ジャーナル　Ｖｏｌ.37」（2024年2月1日発行）　発行部数40.4万部

（３）Ｗｅｂサイトの運営

①漢字・日本語検索サイト「漢字ペディア®」　https://www.kanjipedia.jp/

漢字および日本語の学習を助け、さらなる興味関心を高めるための活動として、無料で漢字・日本語を検索できるサイト「漢字ペディア」を運営しました。このサイトは『漢検 漢字辞典 第二版』に掲載された漢字および語句のデータをもとに製作したもので、角川「新字源 改訂新版」と連携して漢字のなりたち情報も付加しています。パソコンやスマートフォンなどから調べたい漢字や語句をいつでも検索することができ、また、インターネット辞典「goo 辞書」とも連携をはかっているため、同辞典で漢字を検索すると「漢字ペディア」の情報が表示されるようになっています。4,334万pv／年間

②漢字・日本語キュレーションサイト「漢字カフェ®」　https://www.kanjicafe.jp/

漢字および日本語への興味関心を高めるための活動として、漢字・日本語キュレーションサイト「漢字カフェ」を運営しました。『漢検ジャーナル』等で当協会が発信したコンテンツはもとより、巷の漢字・日本語に関する情報を集めて発信していく情報サイトであり、身近な言葉に関する話題から学術的な話題までを分かりやすく伝えています。年間記事登録数58件　54.3万pv／年間

③言語活動に取り組む先生のためのサイト「ＴＥＡＣｈａｎｎｅｌ」　https://teachannel.kanken.or.jp/

新しい学習指導要領に記述がある「言語活動の充実」に資するために、言語活動に取り組む先生方に情報を提供する会員制ポータルサイトを運営しました。全教科の学びを支える「言語活動」に役立つ情報をお届けしています。累計記事掲載数：実践事例91件 コラム145件　42.1万pv／年間

④「漢検 団体サポートサイト」　https://www.kanken.or.jp/dan-sprt/

各団体における目標達成や課題解決のために、検定（漢検・文章検）や各種協会コンテンツをより効果的にご利用いただくためのサポートサイトを運営しました。検定をご実施いただくにあたって、団体ご担当者の手間を軽減するために、さまざまなシーンでご利用いただける各種資料・ツールやＴｏＤｏリスト付きのスケジュール等をご紹介しています。14.82万pv／年間　利用ファイル数2.1万／年間

（４）漢字文化啓発イベント

①今年の漢字®

『今年の漢字®』は、一年を振り返り世相を表現する漢字一字を考えることで、漢字の持つ奥深い意

義を再認識していただく機会として、1995 年から毎年実施している行事です。11 月に、全国からその年の世相を表す漢字一字とその理由を公募し、最も応募数の多かった漢字を 12 月 12 日に清水寺(京都市）の森清範貫主の揮毫により発表しました。本年度は、応募総数 147,878 票のなかから「税」が 5,976 票（4.04%）を集めて 1 位となりました。

②今、あなたに贈りたい漢字コンテスト

“漢字がつなぐ絆”をテーマとして、「想いを込めた漢字を贈る」ことで人との絆を感じるきっかけや大切な人への想いを改めて認識する機会をつくることを目的とし、漢字を贈るメッセージコンテストとして全国から広く作品を募集しました。11 回目となった今回は 6 月 1 日から 9 月 22 日の募集期間において、「小学生部門」に 7,375 作品、「中学生部門」に 21,783 作品、「高校生部門」に 19,069 作品、「大学生・一般部門」に 3,524 作品、また「その他」として 74 作品、合計 51,825 作品の応募がありました。その中から以下 60 作品と団体賞受賞 10 団体を決定し、3 月 20 日に漢検　漢字博物館・図書館において、審査員の橋本五郎氏、華雪氏、ゴルゴ松本氏、やすみりえ氏が参列（栗山英樹氏はビデオメッセージ参加）し表彰式を執り行いました。

＜賞区分＞

・絆大賞(各部門につき 1 作品)	4 作品	
・日本漢字能力検定協会賞(各部門につき 1 作品)	4 作品	
・審査員賞(各部門につき 3 作品)	12 作品	
・佳作	40 作品	合計 60 作品
・団体賞	10 団体	

応募のあった「贈りたい漢字」は計 1,724 字でした。

4 部門を合計した「贈りたい漢字」は、「謝」が最も多く、順に「感」「笑」「楽」「愛」「幸」「優」「友」「支」「夢」などの漢字が並びました。部門別の応募数の多かった「贈りたい漢字」は下記の通りです。

順位	小学生部門	中学生部門	高校生部門	大学・一般部門
1 位	楽	笑	謝	謝
2 位	優	謝	感	愛
3 位	笑	感	笑	笑
4 位	感	楽	愛	楽
5 位	友	優	楽	感

なお、昨年第 10 回の受賞作品を冊子化（7,000 冊）し、応募団体や希望のあった団体に無料で送付しました。

（5）漢字まなび活動助成

日本全国における漢字学習の振興を目指して、当協会以外の団体が行う、地域の漢字学習の振興に寄与する活動に対して、その活動費用の一部を助成する制度を、平成 29 年度より開始しました。活動 1 件あたりの助成金額は、活動に係る予算の二分の一以下かつ上限 30 万円としてホームページで公募した結果、本年度は、6 団体 7 件の活動に対して助成しました。

（6）支援活動

経済的、環境上の理由により検定の受検や漢字学習が困難な児童・生徒に対し、漢検の受検機会や学習書籍を無償で提供する学習支援を行いました。漢検の受検を通して日本語に親しむ機会を持つことで、

漢字の運用能力や学習意欲の向上に役立っています。

【本年度の対象および支援者数】

・要保護児童生徒（義務教育課程在籍者）無償受検	延べ 219 団体	949 名
・児童自立支援施設無償受検	延べ 142 団体	2, 159 名
・児童養護施設/児童心理治療施設への学習教材の無償提供	延べ 196 団体	4, 281 冊

２．日本語・漢字に関する調査及び研究活動

日本の漢字とは何かを、漢字そのものの字体論や意味論等の側面から研究するのみならず、日本文化の側面からも研究する漢字文化研究や、日本語・漢字学習の普及啓発・支援活動ならびに日本語能力育成活動の深化と発展に資する研究活動を行いました。

（１）漢字文化研究

①漢検漢字文化研究奨励賞

広く漢字文化に関わる学術的研究・調査等のうち、将来一層優れた展開が期待され、有望視される学究に対して、漢字文化研究奨励賞を授け、顕彰しました。本年度は 8 点の論考が寄せられ、以下 3 名の論文が選ばれました。受賞論文を「漢字文化研究 第 14 号」として刊行するとともに、協会ホームページにも公開し、更なる研究の深化を奨励しました。

各賞	受賞者（敬称略）	論文タイトル
最 優 秀 賞	Zisk, Matthew Joseph （ジスク　マシュー　ヨセフ） 東北大学大学院 国際文化研究科 准教授	訓点語の文法化―漢字･漢語による模倣借用との関連から―
優　秀　賞	該当無し	
佳　　作	大島　英之 (オオシマ　ヒデユキ) 東京大学大学院 人文社会系研究科 博士課程学生・日本学術振興会 特別研究員	漢字字体と慣用音―「萌」の字音の変遷を例に―
佳　　作	杉山　勇人 （スギヤマ　ハヤト） 鎌倉女子大学短期大学部 准教授	漢字の字体・字形の正誤基準に関する考察 ―戦後の学力調査にみられる漢字書き取りテストの分析を通して―

②日本漢字学会

学術団体「日本漢字学会」は、当協会が漢字文化研究のより一層の振興をはかるために全国の研究者に呼びかけたことがきっかけとなって、2018 年 3 月 29 日に発足し、当協会漢字文化研究所が学会の事務局機能を担っています。12 月 16 日・17 日に第 6 回研究大会を京都大学吉田キャンパスにおいて、対面とオンラインで開催しました。研究大会では口頭発表 12 編及びポスター発表 1 編の研究発表に加え、国立文化財機構理事長島谷弘幸氏による講演会があり、会員・一般の方あわせて約 150 名が参加しました。

（２）日本語・漢字教育研究

①漢字・日本語教育研究助成制度

学校教育法に定められている学校等の教職員が行う漢字・日本語（国語）教育の実践的な研究活動に対して、研究活動費の助成を行っています。本年度は 10 件の応募をいただき、選考委員会による審査の結果、3 件が採択となり 2024 年度研究活動費の助成を行うことが決定しました。

所属機関	研究（代表）者	研究題目
筑波大学	関崎 博紀	外国人と日本語母語話者の関係構築過程における会話の話題に関する基礎的研究
武庫川女子大学	岸本 千秋	推敲過程に注目した大学生の文章作成・レポート作成指導
東北大学	菅谷 奈津恵	非漢字圏学習者を対象とした漢字の手書きとタイピングの学習効果の比較

②検定の質的向上と能力判定の妥当性を高めるため、以下の分析を行いました。

・出題妥当性の検証
・受検者の誤答傾向の調査
・京都大学との研究プロジェクト「人工知能（ＡＩ）による漢字・日本語学習研究」の成果を活かした答案分析等

③漢字・日本語学習に関する学際研究

京都大学大学院医学研究科の協力のもと、「検定学習が心理・脳機能に及ぼす効果」について、1 年間の共同研究を行い、下記の研究結果を得られました。これまでの委託研究・共同研究の成果は、当協会ホームページでも公表しています。

研究題目：検定受検が学びに向かう力に影響を及ぼすのかの効果検証

2023 年第 2 回検定で受検した 6 校の協力で、受検前・受検後・結果受領後に質問紙調査を実施しました。3 つの測定ポイントにおける内的動機づけやメタ認知的学習方略などの非認知能力の変化度について明らかにしました。研究成果については、当協会ホームページにて公表予定です。

３．日本語・漢字に関する能力育成活動

普及啓発活動によって日本語・漢字に興味関心を持った人々に学習する機会を広く提供するため、研修会、教材の発行等を行い、その学習成果と達成度を測る検定試験を実施し、合格証明書の発行を行いました。

（1）「日本漢字能力検定」の実施報告

①検定級および検定料

級	検定料（税込）	
	公開会場 （個人受検・団体公開会場受検）	準会場 （団体受検）
1 級	6,000 円	－
準 1 級	5,500 円	－
2 級	4,500 円	3,500 円
準 2 級～4 級	3,500 円	2,500 円
5 級～7 級	3,000 円	2,000 円
8 級～10 級	2,500 円	1,500 円

②実施日

2023 年度は、年間 16 日程実施しました。

回	公開会場日程	対象級	準会場日程	対象級
第1回	2023 年 6 月 18 日（日）	1～10 級	2023 年 6 月 9 日（金）	2～10 級
			2023 年 6 月 18 日（日）	2～10 級
			2023 年 6 月 24 日（土）	2～10 級
			2023 年 7 月 7 日（金）	2～10 級
第2回	2023 年 10 月 22 日（日）	1～10 級	2023 年 8 月 23 日（水）	2～10 級
			2023 年 10 月 13 日（金）	2～10 級
			2023 年 10 月 20 日（金）	2～10 級
			2023 年 10 月 22 日（日）	2～10 級
			2023 年 10 月 28 日（土）	2～10 級
			2023 年 11 月 2 日（木）	2～10 級
			2023 年 11 月 10 日（金）	2～10 級
第3回	2024 年 2 月 11 日（日）	1～10 級	2024 年 1 月 20 日（土）	2～10 級
			2024 年 1 月 26 日（金）	2～10 級
			2024 年 2 月 9 日（金）	2～10 級
			2024 年 2 月 11 日（日）	2～10 級
			2024 年 2 月 17 日（土）	2～10 級

③会場数

	第1回	第2回	第3回	計
公開会場	151	143	144	438
準会場	10,054	12,701	10,678	33,433
合　計	10,205	12,844	10,822	33,871

④漢検 CBT（Computer Based Testing）

通常の年 3 回 16 日程の検定日に限定せず、より多くの受検機会を設けることを目的として、コンピューターを利用した漢検 CBT を実施しました。

	会場数	志願者数
公開会場	241	53,971
準会場	107	1,745
合　計		55,716

⑤漢検オンライン

通常の年 3 回 16 日程の検定日に限定せず、より多くの受検機会を設けることを目的として、タブレットを利用した漢検オンラインを開始しました。2023 年度は団体受検のみ実施しました。

	団体数	志願者数
団体受検	137	909
合　計		909

⑥志願者数・受検者数・合格者数

2023 年度の志願者数は 1,415,116 人でした。回・級ごとの内訳は次のとおりです。

第1回

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	891	5,037	40,952	68,582	101,424	54,288	46,885	23,303	21,916	22,334	18,855	15,813	420,280
受検者数	819	4,523	39,676	67,644	100,152	52,928	45,213	22,498	21,212	21,312	18,044	14,807	408,828
合格者数	74	1,205	10,135	22,574	46,995	27,932	32,705	18,060	18,361	17,816	16,325	14,204	226,386
合格率（%）	9.0%	26.6%	25.5%	33.4%	46.9%	52.8%	72.3%	80.3%	86.6%	83.6%	90.5%	95.9%	

※4/1～7/31までの漢検CBT・漢検オンライン含む　　1級～10級平均合格率　55.4%

第2回

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	903	5,034	38,290	71,845	131,557	66,034	45,428	26,093	25,409	24,646	19,846	15,001	470,086
受検者数	818	4,498	36,067	68,845	125,165	62,615	43,212	24,918	24,378	23,331	18,841	13,800	446,488
合格者数	72	655	10,596	26,072	61,096	32,335	30,281	18,983	20,697	18,740	16,696	13,001	249,224
合格率（%）	8.8%	14.6%	29.4%	37.9%	48.8%	51.6%	70.1%	76.2%	84.9%	80.3%	88.6%	94.2%	

※8/1～11/30までの漢検CBT・漢検オンライン含む　　1級～10級平均合格率　55.8%

第3回

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	909	5,353	38,929	62,843	96,222	54,913	56,395	45,489	45,685	45,618	39,423	32,971	524,750
受検者数	810	4,777	36,626	59,512	90,933	51,446	53,074	43,118	43,340	42,999	37,421	30,666	494,722
合格者数	46	631	10,666	23,306	43,828	27,426	39,529	33,594	37,771	35,605	33,514	28,899	314,815
合格率（%）	5.7%	13.2%	29.1%	39.2%	48.2%	53.3%	74.5%	77.9%	87.2%	82.8%	89.6%	94.2%	

※12/1～3/31までの漢検CBT・漢検オンライン含む　　1級～10級平均合格率　63.6%

2023年度総計

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	2,703	15,424	118,171	203,270	329,203	175,235	148,708	94,885	93,010	92,598	78,124	63,785	1,415,116
受検者数	2,447	13,798	112,369	196,001	316,250	166,989	141,499	90,534	88,930	87,642	74,306	59,273	1,350,038
合格者数	192	2,491	31,397	71,952	151,919	87,693	102,515	70,637	76,829	72,161	66,535	56,104	790,425
合格率（%）	7.8%	18.1%	27.9%	36.7%	48.0%	52.5%	72.4%	78.0%	86.4%	82.3%	89.5%	94.7%	

※4/1～3/31までの漢検CBT・漢検オンライン含む　　1級～10級平均合格率　58.5%

※志願者数には、漢検 CBT 志願者、漢検オンライン志願者および当協会が判断した事由（伝染性病症や天災地変など）により受検を次回実施日に繰り越し、もしくは検定料を返金した志願者を含む。

⑦資格活用状況調査

全国の大学・短期大学、専修学校、高等学校における「漢検」の活用状況を調査しました。入学試験だけでなく入学後にも「漢検」を活用している大学・短期大学、専修学校、高等学校に関する情報を学習者や指導者に提供しました。調査結果は次のとおりです。

学校区分	調査対象数	回答数	活用校数	活用方法（重複あり）	
				入学試験	入試以外
大学・短期大学	1,066	1,060	721	694	72
専修学校	2,593	1,392	718	551	216
高等学校	5,472	4,452	3,259	2,823	808

⑧成績優秀者表彰

漢字学習に取り組んでいる人への努力を賞し、さらなる学習の励みとしていただく目的で、本年度「漢検」を受検した方や団体の中から「成績優秀者および団体」を決定しました。2024 年 7 月 10 日に、成績優秀者表彰特設サイトを WEB 上に開設する予定です。また、個人の部については、2024 年 8 月 10 日（土）に成績優秀者表彰式にて授与式を行う予定です。

個人賞　計 214 名・家族 6 組

◇日本漢字能力検定協会賞　1～10 級　合計 36 名
◇全国検定振興機構理事長賞　1～10 級　合計 36 名
◇優秀賞　1～10 級　合計 36 名
◇奨励賞　1～10 級　合計 102 名
◇特別賞
〈個人の部〉　級を問わず年間での最高齢合格者　2 名
1 級・準 1 級各級の最年少合格者　2 名
〈家族の部〉　6 組

団体賞　計 348 団体

◇日本漢字能力検定協会賞　4 団体
◇最優秀団体賞　20 団体
◇優秀団体賞　102 団体
◇奨励賞　143 団体
◇特別賞　79 団体

※受賞者・受賞団体数は 2024 年 5 月 1 日時点のもの

⑨各種表彰制度

・「満点賞」

満点合格者の努力を称え、さらなる学習の励みになるよう、各級に満点で合格された方に、満点合格証書を発行しました。当年度の満点合格者は延べ 26,252 名でした。

・「家族受検表彰制度」

生涯学習の奨励と受検者の学習意欲向上を目的として、家族そろって合格した場合に、個別の合格証書に加えて、合格した家族全員の氏名が入った「家族合格表彰状」を申請希望により授与しました。当年度の希望家族数は 3,708 件でした。

・「団体内表彰制度」

受検者の学習意欲の向上を目的として、各団体が独自の基準で合格者を表彰できるよう、「表彰支援セット（賞状・楯・文具）」を制作し、1 日程の志願者数 80 名以上または年間累計志願者数 80 名以上の条件を満たした希望団体 291 団体に 489 セットを送付しました。

（2）「BJT ビジネス日本語能力テスト」の実施報告

2017 年度より実施形式が従来のＰＢＴ（Paper Based Testing）からＣＢＴ（Computer Based Testing）に移行しています。

①受験料

7,000 円（税込、日本国内）

②実施日

各テスト会場の開設日時に応じて随時

③実施地

国内：49 都市 62 会場

海外：20 国／地域 59 会場

④志願者数

	志願者数
国内	4,102
海外	2,353
合計	6,455

（3）「文章読解・作成能力検定」の実施報告

漢字学習の先にある、日本語文章を読み解き、作成する能力を育成するための「文章読解・作成能力検定」を実施しました。

①検定級および検定料

2 級：4,000 円　　準 2、3 級：3,000 円　　4 級：2,000 円

②実施日

公開会場日程	対象級	準会場日程	対象級
2024 年 2 月 11 日（日）	2～4 級	2023 年 8 月 24 日（木）	準 2～4 級
		2023 年 11 月 2 日（木）	準 2～4 級
		2023 年 11 月 11 日（土）	準 2～4 級
		2024 年 1 月 17 日（水）	準 2～4 級
		2024 年 1 月 25 日（木）	準 2～4 級
		2024 年 2 月 11 日（日）	2～4 級

③会場数

	第1回	第2回	第3回	合計
公開会場		－	3	3
準会場		166	164	330
合　計		166	167	333

④志願者数・受検者数・合格者数

2023年度総計

	2級	準2級	3級	4級	計
志願者数	608	4,987	12,330	7,019	24,944
受検者数	549	4,671	11,369	6,513	23,102
合格者数	442	2,994	8,235	4,824	16,495
合格率（%）	80.5%	64.1%	72.4%	74.1%	

2級～4級平均合格率　　71.4%

⑤文章力テストの実施

企業等の団体において、任意の日時・場所で受検できる文章力テストを実施し、2,465 人が受検しました。

⑥資格活用状況調査

全国の大学・短期大学、専修学校における「文章検」の活用状況を調査しました。入学試験だけでなく入学後にも「文章検」を活用している大学・短期大学、専修学校に関する情報を学習者や指導者に提供しました。調査結果は次のとおりです。

学校区分	調査対象数	回答数	活用校数	活用方法（重複あり）	
				入学試験	入試以外
大学・短期大学	1,066	1,060	563	555	19
専修学校	2,593	1,392	445	427	28

⑦文章能力養成のための研修および学習・アセスメントツールの提供

企業・大学等の団体に対して、集合型・オンラインによる研修や文章学習・アセスメントツール「論理的文章力トレーニング」シリーズ（利用者 6,757 人）を提供しました。

（4）学習支援講座

①漢検生涯学習ネットワーク研修会

漢検 1 級・準 1 級合格者に漢字や日本語についてより深く学ぶ機会を提供するため、漢検生涯学習ネットワークを組織しています。本年度で会員数は 11,645 名に達しました。会員向けの通信を年 3 回発行（ホームページでも公開）しました。
また、研修会を 3 回開催しました。

第 34 回研修会
日時：2023 年 4 月 9 日（日）　13:30～15:30
場所：東京都・主婦会館プラザエフ
講演：『漢字の発想・西夏文字の発想』
荒川　慎太郎 氏（東京外語大学アジア・アフリカ言語文化研究所　教授）
申込者：128 名

第 35 回研修会
日時：2023 年 7 月 2 日（日）　13:00～15:00
場所：新潟県・新潟駅前カルチャーセンター802 室
講演：『重言の心理と病根』
塚田　勝郎 氏（全国漢文教育学会副会長）
申込者：24 名

第 36 回研修会
日時：2023 年 11 月 5 日（日）　13：00～15：00

場所：京都府・漢検 漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）
講演：『江戸時代料理書の漢字』
　　余田　弘実　氏（龍谷大学文学部教授）
申込者：53 名

※肩書は講演当時のもの

②漢字教育サポーター育成講座（講師養成）

「漢検生涯学習ネットワーク会員」を対象に自らの漢字の知識を各地域の学習支援に生かせる講師を養成しました。

また、漢字教育サポーター登録者を対象にした研修会を年 2 回漢検生涯学習ネットワーク研修会と同日、同会場で行いました。

〇4 月度研修会
日　時：2023 年 4 月 9 日（日）10:00～11:30
テーマ：『教えて、久保先生！＆サポーター交流会』
場　所：東京都・主婦会館プラザエフ（対面開催）
講　師：立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所　久保　裕之先生
申込者：40 名

〇7 月度研修会
日　時：2023 年 7 月 9 日（日）10:30～11:30
テーマ：『サポーター同士のオンライン交流』
方　法：オンライン（Zoom）
申込者：38 名

③漢字教育サポーター紹介制度

漢検の上位級（1 級・準 1 級）の合格者で、一定の専門的知識を有している者（「漢検生涯学習ネットワーク」会員で「漢字教育サポーター育成講座」を修了した者）を漢字教育サポーターとして登録し、そのプロフィールをホームページ等で公開することにより、講座の開講を希望する団体等に紹介する学習支援活動を行いました。紹介実績 7 件。

漢字教育サポーター登録者数：826 名

（5）教材の発行

広く一般の人々に対し学習の機会を提供する手段として、教材や参考書を発行し、書店や教育現場を通じて流通させました。あらゆる分野のあらゆる年齢層の人々に対し、その多様な学習ニーズに応える教材として、次の学習教材を提供しました。

① 検定・テストに対応するもの

「漢検 漢字学習ステップ」「漢検 過去問題集」「これでなっとく！漢検クイックスタディ」「文章力ステップ」ほか

・・・・・812,191 冊

②日本語・漢字への興味関心を喚起するもの

「漢検 漢字辞典」「漢字学ことはじめ」「マンガで体験！にっぽんのカイシャ」「それ、知りたかった！　カイシャの日本語～マンガで学ぶ　ビジネススキル＆ボキャブラリー～　難易度別語彙表

付き」ほか

・・・・・8,558 冊

合計 820,749 冊

また、上記の有料の教材や参考書だけでなく、無料で利用していただける教材も制作し、教育現場等を通じて提供しました。

①検定・テストに対応するもの

「漢検 目安級診断プリント」「漢字学習サイクルプリント」ほか

・・・・・992,404 部

② 日本語・漢字への興味関心を喚起するもの

「漢字でわーく・わーく」「漢字王国と僕と私の不思議な 15 日間」ほか

・・・・・1,047,911 部

合計 2,040,315 部

③その他デジタル教材

「漢字学習アプリ『いちまると旅しよう！ しりもじ漢検』」「作文学習アプリ『いちまるとはじめよう！ことばむすび』」ほか

Ⅱ．理事会・評議員会に関する事項

2023 年度の理事会・評議員会の開催状況は以下の通りである。

・理事会（定例）
日　時：2023 年 6 月 6 日（火）午前 10 時～
場　所：当協会 京都本部および非常勤役員の活動拠点（web 会議）
出席者：理事 11 名、監事 3 名

・評議員会（定時）
日　時：2023 年 6 月 21 日（水）午後 1 時～
場　所：当協会 京都本部
出席者：評議員 8 名、理事 4 名、監事 3 名

・理事会（臨時）
日　時：2023 年 6 月 21 日（水）午後 4 時～
場　所：当協会 京都本部および非常勤役員の活動拠点（web 会議）
出席者：理事 7 名、監事 2 名

・理事会（定例）
日　時：2023 年 9 月 5 日（火）午前 10 時～
場　所：当協会 京都本部および非常勤役員の活動拠点（web 会議）
出席者：理事 7 名、監事 2 名

・評議員会（報告の省略）
日　時：2023 年 10 月 24 日（火）
同意者：評議員 10 名

・理事会（定例）
日　時：2023 年 12 月 5 日（火）午前 10 時～
場　所：当協会 京都本部および非常勤役員の活動拠点（web 会議）
出席者：理事 7 名、監事 2 名

・理事会（定例）
日　時：2024 年 3 月 5 日（火）午前 10 時～
場　所：当協会 京都本部および非常勤役役員の活動拠点（web 会議）
出席者：理事 7 名、監事 2 名

・評議員会（臨時）
日　時：2024 年 3 月 19 日（火）午後 2 時～
場　所：当協会 京都本部および評議員の活動拠点（web 会議）
出席者：評議員 6 名、理事 3 名、監事 2 名

Ⅲ．その他

特記事項はありません。

Ⅳ．後発事象

該当ありません。

Ⅴ．附属明細書

2023 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しません。

2024 年　6 月
公益財団法人 日本漢字能力検定協会